

News Release



令和8年3月3日

各報道機関文教担当記者 様

輪島の中学生「語り部」デビューに向けて始動！ 南三陸の伝承者を能登へ招き、語る力を磨く

【KU5 Project HESO】(※)・一般社団法人金沢大学教育New Platform・地方Web3連携協会は、能登地域の小中学校と協力し、総合的な学習の時間を使って取り組む「復興×地域価値づくり」探究プロジェクト(へそDAO)を実施しています。本プロジェクトは、能登半島地震からの復興過程にある能登町の現状を、次世代を担う子どもたちの視点で発信するものです。

プロジェクトの一つとして、能登半島地震を経験した輪島中学校の生徒が、被災の記憶を風化させず、全国から訪れる方々に「復興への希望」を届けるため、「語り部」活動に挑戦しています。多くの方々からクラウドファンディングを通じた温かいご支援をいただき、今春・今夏の語り部デビューを目指しています。

このたび、震災伝承の先駆者である宮城県南三陸町の語り部活動責任者と、語り部経験のある学生を能登へ招聘し、よりよい語り部活動に向けたワークショップを実施します。

つきましては、ワークショップ当日の取材・報道をよろしくお願いします。

取材を希望される場合は、3月6日(金)17:00までに別紙取材申込書を送付願います。

輪島中学校第1学年 総合探究「体験を減災へ」語り部準備ワークショップ

内容：令和8年春・夏予定の語り部活動をよりよいものとするために、震災の語り部経験者に話を伺い、自分たちの発表を聞いてもらうほか、意見交換をする。

講師：災害支援コーディネーター、伝動詩人、東日本大震災南三陸町語り部活動責任者
瀬川 映太(せがわ えいた)氏

語り部経験のある学生 全10名(予定)

実施日：3月9日(月)13:40~15:30(5・6限)

実施場所：輪島市立輪島中学校(石川県輪島市河井町11-39-1)

参加者：輪島中学校1年生徒 80名

※【KU5 Project HESO】とは

金沢大学附属学校5校園が、学校を価値創造の拠点とし、未来を切り拓く人材を育成するため、地域社会と協働で取り組んでいる社会課題解決型教育プログラム。令和4年度にスタートし、様々な社会協働実践が行われている。

<https://project-heso.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



【本件照会先】

金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 四十万谷
TEL：076-226-2182(平日9:00~17:00)
FAX：076-245-8630
E-mail: edfuzol@adm.kanazawa-u.ac.jp

取材を希望する場合は、本申込書を
3月6日（金）17：00までに
下記の宛先へ送付してください。

金沢大学
人間社会系事務部総務課附属学校事務係
FAX：076-245-8630

申込日：令和8年 月 日

輪島の中学生「語り部」デビューに向けて始動！
南三陸の伝承者を能登へ招き、語る力を磨く

取材申込書

報道機関名： _____

取材記者名： _____ 様

連絡先： _____ (_____)

同行者（カメラマン等）： _____ 名（上記記者除く）

カメラ等の内訳（台数）： _____

（例）テレビカメラ 1台

【本件照会先】

担当：金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 四十万谷

TEL：076-226-2182 （平日9：00～17：00）

FAX：076-245-8630

E-mail：edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp